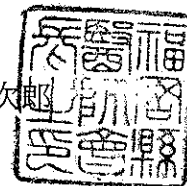




福岡医発第1726号(総)
平成12年12月20日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 関原 敬次郎



財団法人日本医療機能評価機構「EBM医療情報サービス事業」に係る
アンケート調査実施への協力願いについて

標記について、日本医師会より別紙のとおり協力依頼がありました。

本アンケート調査は、財団法人日本医療機能評価機構が来年度から診療ガイドライン及びその連絡情報の提供を開始するにあたり、利用者である医師の情報入手の現状や意見・要望等を調査し、今後の事業にその声を反映していくためのものです。調査対象となる医師は、日医A①会員のうち、層化無作為抽出による1万人で、別添の調査票が郵送により会員のもとに届けられます。

本会においても、第35回全理事会（H12.12.19）において協議の結果、これに協力することにいたしました。

つきましては、貴会におかれましても本アンケート調査についてご了解いただき、貴会会員の協力をお勧めいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

日医発第914号（生49）
平成14年12月11日

都道府県医師会長 殿



財団法人日本医療機能評価機構「EBM医療情報サービス事業」に係る
アンケート調査実施への協力願いについて

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、本会会務の運営にあたり、貴会のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、財団法人日本医療機能評価機構より、別紙の通り、本会宛に標記アンケート調査への協力依頼が参りました。

財団法人日本医療機能評価機構が行う「EBM医療情報サービス事業」は、より良い医療実現のために、医師ならびに一般国民に診療ガイドライン及びその関連情報を提供することを目的としております。

本アンケート調査は、同財団が来年度から診療ガイドライン及びその関連情報の提供を開始するにあたり、利用者である医師の情報入手の現状や意見・要望等を調査し、今後の事業にその声を反映していくため行うものです。調査対象となる医師は、日医A①会員のうち、層化無作為抽出による1万人で、添付しました調査票が郵送により会員のもとに届けられます。

本会では、検討の結果、本アンケート調査に協力することに決定いたしました。

つきましては、本アンケート調査についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会への周知の上、会員の協力をお勧めいただくよう、貴職の特段のご高配をお願い申し上げます。

敬具



財日医機評第405号

平成14年11月26日

日本医師会

会長 坪井 栄孝 殿

財団法人日本医療機能評価機構

専務理事 伊賀 六



E B M医療情報サービス事業に係るアンケート調査実施へのご協力願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当財団の事業運営につきまして多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では本年度より厚生労働科学研究費補助金を受け、E B M医療情報サービス事業を開始いたしました。当事業は来年度から情報提供を目指しておりますが、開発に先立ちましてユーザーである医師が必要とする医療情報とはどのようなものであるかを把握し、よりよいものを提供するために、別紙のアンケート調査を計画しております。

つきましては、貴会会員の皆様へのアンケート調査実施にご協力を賜りたく、ここにお願い申し上げます。何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。

敬具

「EBM医療情報サービスに関するアンケート調査」 (医師会会員向け) 実施計画書

1. 調査の目的

「EBM医療情報サービス」は、医師ならびに一般国民に診療ガイドラインおよびその関連の情報を、主にインターネットを通じて提供することにより「根拠に基づいた医療」の実践を支援し、我が国においてより良い医療が実践されることを目指すものです。

本事業は、来年度から提供開始を目標に準備を進めていますが、開始にあたっては、利用者のニーズに即した、多くの方に有効に利用されるものを提供することを目標としております。そこで、今回の調査は、この事業の利用者である医師を対象とし、情報入手の現状及び今後の意向・要望等を調査し、この事業に利用者の声を反映させることを目的とします。

2. 調査の設計

- (1) 調査票：全9頁
- (2) 調査地域：全国
- (3) 調査対象：日本医師会A会員
- (4) 対象数：10,000人（期待回収率30%）
- (5) 調査方法：郵送法
- (6) 抽出方法：層化無作為抽出
- (7) 調査時期：平成14年12月～平成15年1月
- (8) 結果集計：平成15年1月末日
- (9) 公表時期：平成15年2月末日

3. スケジュール

主な作業スケジュールは下記のとおりです。

- | | |
|---------------------|---------------|
| * 調査項目確定 | 平成14年11月25日まで |
| * プリテスト | 平成14年12月1日まで |
| * 都道府県医師会に
依頼状投函 | 平成14年12月1日 |
| * 対象者抽出 | 平成14年12月10日まで |
| * 調査票投函 | 平成14年12月15日 |
| * 督促投函 | 平成14年12月25日 |
| * 締め切り | 平成15年1月15日 |
| * 結果公表 | 平成15年2月28日 |

4. 委託業者

社団法人中央調査社

平成14年12月 日

日本医師会会員各位

財団法人医療機能評価機構
EBM担当理事 山口直人

「EBM医療情報サービスに関するアンケート調査」ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、財団法人日本医療機能評価機構では本年より厚生労働科学研究費補助金を受け、EBM医療情報サービス事業を開始する運びとなりました。このEBM医療情報サービス事業では、医学情報、特に診療ガイドライン及びその基礎となる医学文献を科学的な評価をした上でデータベースとして整備し、インターネット等を通じて全国の医療従事者や国民に提供を考えています。これにより医療従事者が日常診療を行う上での意思決定を支援し、また患者も自ら受ける医療を選択する上で意思を反映できるようにすることでわが国の医療の向上を目指すものです。

このEBM医療情報サービス事業は来年度から提供開始を考えておりますが、利用者の方々によりよいものを提供することを目標とし、開発に先立ち医師をはじめとした利用者の方々よりご意見を伺うことに致しました。今回お願いするアンケート調査は日本医師会のご協力をいただき実施するものです。ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、調査結果の集計、解析におきまして回答された方の個人名を同定するような情報が含まれることがないことを申し添えさせていただきます。

敬具

「医療情報サービスに関するアンケート調査」

【ご記入にあたってのお願い】

- (1) この調査票は、必ず封筒のあて名の方がご回答ください。
- (2) 回答は、問1から順に、あてはまる番号に○印をつけてください。
「その他」にあてはまる場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- (3) 番号に○をつけていただくときに、(○は3つまで) とか (○はいくつでも) など○の数を指定させていただいておりますので、その範囲でお答えください。
- (4) 一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、矢印(→)の指示に従って、付問にお答えください。特に指示のない質問については、全員がお答えください。
- (5) ご記入が終わりましたら、同封した返信用封筒にアンケート用紙を入れて、
月 日 () までにご投函くださるようお願いいたします。
なお、返信用封筒にお名前やご住所を記入していただく必要はありません。
- (6) この調査についてのお問い合わせは、下記へご連絡ください。
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-16-7 EMCビル7階
財団法人日本医療機能評価機構 鈴木・高橋
Tel. 03-3661-3721 Fax. 03-3661-5856

■ まず、はじめに、あなたご自身のことについて少しおうかがいします。

問1. あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性

2 女性

問2. あなたのお年は満で何歳ですか。

--	--

歳

問3. あなたの医師としての勤務年数は何年ですか。

--	--

年

■ あなたの現在のお仕事についておうかがいします。

問4. あなたが、現在、働いておられる医療機関の所在地はどこですか。具体的な市町村名でお答えください。(2つ以上ある場合は、主なところ1つについてご記入ください。)

--

都道
府県

--

市 区
町
村

問5. 現在、担当されている診療科目を次の中からすべてあげてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|--------------------------|
| 1 基礎医学(病理学を含む) | 16 形成外科 | 31 肛門科 |
| 2 社会医学 | 17 美容外科 | 32 リハビリテーション科 |
| 3 内科 | 18 脳神経外科 | 33 放射線科 |
| 4 呼吸器科 | 19 呼吸器外科 | 34 麻酔科 |
| 5 消化器科 | 20 心臓血管外科 | 35 歯科口腔外科 |
| 6 循環器科 | 21 小児外科 | 36 救急医学科 |
| 7 小児科 | 22 産婦人科 | 37 検査医学科 |
| 8 精神科 | 23 産科 | 38 化学療法科 |
| 9 神経科 | 24 婦人科 | 39 産業医 |
| 10 神経内科 | 25 眼科 | 40 公衆衛生医 |
| 11 心療内科 | 26 耳鼻咽喉科 | 41 介護 |
| 12 アレルギー科 | 27 気管食道科 | 42 特に診療科はない
(管理・運営など) |
| 13 リウマチ科 | 28 皮膚科 | 43 その他の分野
(具体的に) |
| 14 外科 | 29 泌尿器科 | |
| 15 整形外科 | 30 性病科 | |

(診療科目を2科目以上回答された方にうかがいます。)

付問. そのうち、主たる診療科目を1つあげてください。(問5の番号をご記入ください)

--	--

(問5の番号をご記入ください)

問6. あなたは現在、臨床を行っていますか。

1 行っている



2 行っていない



(問7へお進みください)

(付問1～付問6は現在、臨床を行っている方におうかがいします)

付問1. 診察はプライマリーケアが主ですか。それとも専門性が高いものが主ですか。

1 主としてプライマリーケア

2 主として専門性が高い診療

付問2. 臨床経験年数は通算で何年くらいになりますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 2年未満 | 4 ～15年未満 | 7 ～30年未満 |
| 2 ～5年未満 | 5 ～20年未満 | 8 30年以上 |
| 3 ～10年未満 | 6 ～25年未満 | |

付問3. 主たる勤務施設における勤務形態は次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 自主開業 | 5 レジデント |
| 2 大学病院の勤務医 | 6 研修医 |
| 3 それ以外の研修指定病院の勤務医 | 7 その他(具体的) |
| 4 その他一般病院の勤務医 | |

付問4. 主たる勤務施設での1週間の勤務日数はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1 7日 | 4 5日 |
| 2 6日 | 5 4日 |
| 3 5.5日(4週6休) | 6 その他() |

付問5. 勤務日での平均的な業務終了時刻を次の中からあげてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 午後5時以前 | 4 ～午後11時 |
| 2 ～午後7時 | 5 午後11時以降 |
| 3 ～午後9時 | |

付問6. 勤務日での平均的な診療時間及び事務作業(デスクワーク)時間はそれぞれおよそどのくらいですか。

(1) 診療時間

およそ

--	--

 時間くらい

(2) 事務作業時間

およそ

--	--

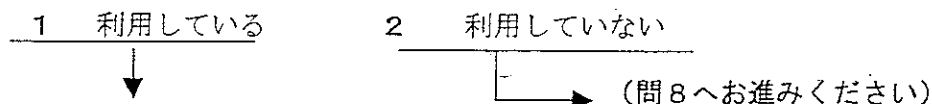
 時間くらい

(全員の方におうかがいします)

■ II. パソコンの利用状況をおうかがいします。

問7. あなたは、勤務先でパソコン（インターネット利用を含む）を利用していますか。

(オーダー入力と病院情報システムへの入力は除きます)。



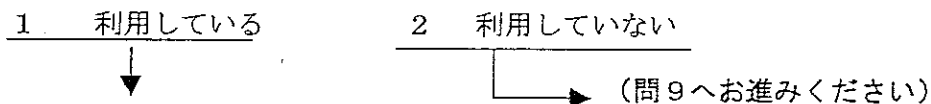
付問1. 勤務先でパソコンを1日平均どのくらい利用していますか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 15分未満 | 4 1時間～2時間未満 |
| 2 15分～30分未満 | 5 2時間～3時間未満 |
| 3 30分～1時間未満 | 6 3時間以上 |

付問2. それでは、勤務先でパソコンからのインターネット1日平均どのくらい利用していますか。(Eメールの利用時間は含みません。ホームページ閲覧のみの時間をお答えください)

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1 勤務先のコンピュータはインターネットに接続されていない | 5 30分～1時間未満 |
| 2 接続はされているが利用しない | 6 1時間～2時間未満 |
| 3 15分未満 | 7 2時間～3時間未満 |
| 4 15分～30分未満 | 8 3時間以上 |

問8. あなたは、家庭でパソコン（インターネット利用を含む）を利用していますか。



付問1. 家庭でパソコンを1日平均どのくらい利用していますか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 15分未満 | 4 1時間～2時間未満 |
| 2 15分～30分未満 | 5 2時間～3時間未満 |
| 3 30分～1時間未満 | 6 3時間以上 |

付問2. それでは、家庭でパソコンからのインターネットを1日平均どのくらい利用していますか。(Eメールの利用時間は含みません。ホームページ閲覧のみの時間をお答えください)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1 家庭のコンピュータはインターネットに接続されていない | 5 30分～1時間未満 |
| 2 接続はされているが利用しない | 6 1時間～2時間未満 |
| 3 15分未満 | 7 2時間～3時間未満 |
| | 8 3時間以上 |

4 15分～30分未満

■ Ⅲ. あなたが診療に必要な医療に関する情報についておうかがいします。

問9. 診療でわからない時や困った時、どうしておられますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 同僚や先輩に尋ねる | 7 医学文献データベースで検索する |
| 2 教科書を読む | 8 インターネットで調べる |
| 3 専門家に聞く | 9 その他 (具体的に) |
| 4 関連医学雑誌を読む | 10 何もしない |
| 5 「今日の治療指針」、各種診療マニュアル等の本を調べる | |
| 6 国内外の学会が発表している診療ガイドラインを読む | |

(問9で「8 インターネットで調べる」と答えた方のみお答えください。)

付問. よく利用されるサイトがあれば具体的にお教えてください。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()

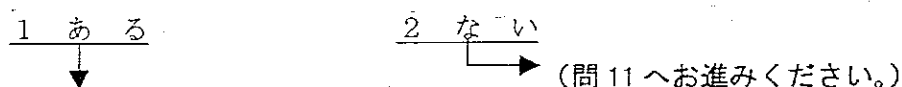
■ Ⅳ. 診療ガイドラインおよびEBM (Evidence-Based Medicine) についてうかがいます。

下記は、診療ガイドライン一例です。

「高脂血症」の診療ガイドラインの一例

- (A) 高脂血症の診断基準と治療の必要性についての推奨
- (B) 上記の根拠についての説明
例えば、血液中コレステロール値と心筋梗塞の発生のリスクとの関係について
- (C) 根拠となったそれぞれの研究論文の出典
例えば、血液中コレステロール値と心筋梗塞の発生のリスクとの関係については、国際雑誌で発表された論文**編についての著者名、論文タイトル、雑誌名、発刊号、頁が記載
- (D) 根拠となったそれぞれの研究論文の抄録
それぞれの研究論文について研究方法、結果、考察についての抄録が300字程度で記載

問10. 実際の診療ガイドラインをご覧になったことはありますか。



(問10で「ある」とお答えになった方におうかがいします)

付問1. あなたは、日常、診療ガイドラインを参考とした診療を行っていますか。

- | | | | |
|---------------|---------------|-----------------|----------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 大いに参考
している | 時々参考に
している | あまり参考に
していない | 全く参考にし
ていない |

問 11 上記（「高脂血症」の診療ガイドラインの一例）のような診療ガイドラインを使用する場合、どこまで情報を提供してほしいと思いますか。

- 1 (A) のみでよい
- 2 (A) および (B)
- 3 (A) から (C) まで
- 4 (A) から (D) まですべて
- 5 その他の情報がほしい（具体的に)
- 6 特に必要とは思わない

問 12. では、根拠となったそれぞれの研究論文そのものがすぐに参照できるとしたら、それらの論文を参照すると思いますか。

- 1 必ず参照すると思う
- 2 抄録で納得がいけない場合には参照すると思う
- 3 余裕があれば参照すると思う
- 4 多分参照しないと思う
- 5 全く参照しようと思わない

問 13. 診療ガイドラインは日常の診療に役立つと思いますか。

- | | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|--------------|---------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 大いに役立つと
思う | 役立つことも
あると思う | ほとんど役立た
ないと思う | 役立たない
と思う | 使ったことが
ないのでわからない |



付問. どういう理由で役立たないと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 主眼色のガイドラインが多く実際の診療決定に活用できない
- 2 十分な根拠に基づいていないガイドラインが多い
- 3 ガイドラインは複雑すぎて理解できない
- 4 患者への説明に使える表現になっていない
- 5 必要なガイドラインを探すことができない
- 6 その他 ()

問 14. 診療ガイドラインにおいて必要と思われることは次のどれだと思いますか。

(〇はいくつでも)

- 1 推奨の根拠について納得できる明確な理由が提示されていること
- 2 診療ガイドラインの根拠となっている個々の医学文献の研究内容の信頼性について言及してあること
- 3 ガイドラインを作成した機関・人が信頼できること
- 4 ガイドラインの目的が明確であること
- 5 その他 ()
- 6 よくわからない

問 15. 現在、診療ガイドラインは多数存在しています。それぞれの診療ガイドラインは非常に専門的なものから一般の臨床行為において頻繁に取り扱われるものまで、その取り扱う内容はさまざまです。あなたはどのような診療ガイドラインの提供を望みますか。次の中から1つお答えください。

- 1 さまざまな状況に対応できる情報を網羅した教科書的なもの
- 2 あなたが日常遭遇する臨床上の意思決定に生じる疑問に端的に回答するもの
- 3 最新の情報やトピックを分野毎にまとめたもの
- 4 特に必要とは思わない

問 16. EBM (Evidence-Based Medicine, 根拠に基づく医療) のことをご存じですか。

- 1 よく知っている
- 2 内容を少し知っている
- 3 聞いたことはあるが内容は知らない
- 4 聞いたことがない

現在、臨床研究の進展によってより適切な医療を提供するための科学的根拠が医学文献や診療ガイドラインの形で蓄積されつつあります。こうした根拠を十分に考慮しながら実践する医療のあり方はEBM (Evidence-Based Medicine) と呼ばれ、その普及により医療の質の向上が期待されています。

問 17. EBM (Evidence-Based Medicine, 根拠に基づく医療) を診療に取り入れたいと思いますか。

- 1 大いに思う
- 2 思う
- 3 どちらともいえない
- 4 思わない
- 5 まったく思わない

■ IV. EBM医療情報サービス事業についておたずねします。

EBM医療情報サービスとは…

診療ガイドライン及び、その基礎となる医学文献を科学的な評価をした上でデータベースとして整備し、インターネット等を通じて全国の医療従事者や国民に提供することを目的とします。これにより、医療従事者が日常診療を行う上での意思決定の支援、また患者が自らの医療を選択する上での意思決定をも支援することで、個々の患者に適した最善の医療の提供、すなわちEBMの実現を可能にします。

さらに、学会等が行う診療ガイドラインの作成、更新を支援していくことも目的とします。
(詳細は別紙 事業概要 をご参照ください。)

問 18. EBM医療情報サービス事業において提供する医療情報は次のどのような点を特に重視するのが良いと思いますか。(○は2つまで)

- 1 網羅的な医療情報にすること
- 2 教科書的な医療情報にすること
- 3 問題解決型の医療情報にすること
- 4 臨床上の疑問に対する回答型の医療情報にすること
- 5 最新のトピックの医療情報にすること
- 6 迅速性のある医療情報にすること
- 7 平易な医療情報にすること
- 8 端的にわかる医療情報にすること
- 9 その他 ()

問 19. EBM医療情報サービス事業において提供される医療情報を必要とする場合、主として自分の専門領域についての情報ですか。それとも専門以外の領域の情報になると思いますか。

- 1 主として自分の専門領域
- 2 主として専門以外の領域
- 3 両方同じぐらい必要

問 20. EBM医療情報サービス事業において提供される医療情報を得るとしたら、どのような理由からだと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 眼の前の患者への診療方針の決定のため
- 2 患者・家族への説明のため
- 3 最新の情報の取得のため
- 4 生涯学習のため



EBM医療情報サービス事業

[EBM: Evidence-Based Medicine]



事業概要

EBM医療情報サービスとは

現在、臨床研究の推進によってより適切な医療を提供するための科学的根拠が医学文献や診療ガイドラインの形で蓄積されつつあります。こうした根拠を十分に考慮しながら実践する医療のあり方はEBM(Evidence-Based Medicine)と呼ばれ、その普及により医療の質の向上が期待されています。しかしながら、膨大な医学情報があるにもかかわらず、医療従事者や国民が十分に活用できるような環境は整備されていません。そこで本事業では、診療ガイドライン及び、その基礎となる医学文献を科学的な評価をした上でデータベースとして整備し、インターネット等を通じて全国の医療従事者や国民に提供することを目的とします。さらに、学会等が行う診療ガイドラインの作成、更新を支援していくことも目的とします。

本事業は、医療従事者が日常診療を行う上での意思決定を支援し、また患者が自らの医療を選択する上での意思決定も支援することにより、個々の患者に適した最善の医療の提供、すなわちEBMの実現を可能にします。

なお、本事業の目指す情報提供は日常診療の支援を目的とするものであり、診療内容を拘束するものではありません。

事業内容について

(1) データベースの構築

国内外の医学文献や診療ガイドラインを科学的に評価し、信頼性の高い医学情報を蓄積、整備します。

ガイドラインは、医学・医療の進歩に即して、更新します。

(2) 情報提供

提供形態として、一般臨床家向け、国民向け、専門家向けの三種類を整備します。

国民向けについてはインターネットに限らず、パンフレット、定期刊行物等で幅広い情報提供を目指します。

(3) 診療ガイドラインの作成支援

学会等が新たに診療ガイドラインを作成する際や、既存のガイドラインを更新する際に、医学文献情報を提供する等により作成の支援を行います。

※本事業は厚生労働科学研究費補助金によって進められています。

今後の予定

平成14年度は、ガイドラインを評価、選定する委員会設置などの準備期間とします。

平成15年度から診療ガイドラインの評価、選定を開始し、データベース化して順次、情報提供を開始します。

[\[トップページ\]](#) [\[EBM研究フォーラム\]](#) [\[フォーラム申し込み\]](#)

[\[財団法人 日本医療機能評価機構 ホームページへ\]](#)